

令和5年度 第4回 小櫃・上総地区公民館運営審議会 会議次第

日 時 令和6年3月19日(火) 午後2時30分から
場 所 君津市松丘コミュニティセンター 大会議室

- 1 開 会
- 2 三橋委員長あいさつ
- 3 石井館長あいさつ
- 4 報 告
 - (1)報告事項その1 各公民館事業の報告
 - (2)報告事項その2 「令和8年実施 20歳のつどいにかかる懸案事項について」
ご意見紹介
- 5 協 議
 - (1)協議事項その1
審議テーマ:「地域活性の拠点としての公民館運営・事業」の現状 について
※令和6年度評価予定の各館モデル事業について各館協議
- 6 そ の 他
- 7 閉 会

令和 5 年度事業報告

小櫃公民館

令和5年度事業報告書

		機関名	小櫃公民館							
事業名称	令和6年小櫃地区20歳のつどい (予算分類名) 青少年教育事業		作成日	令和6年3月2日						
			担当者	會澤直也						
		全回数	7回	総時間数	12時間20分					
実施背景 目的 特記事項等	<p>人生の節目を迎える20歳の青年の門出をともに祝い励ます行事を通じて、青年が大人になった自覚を持つことのできる機会、並びに地域の人々との交流を深める機会を提供し、もって青年教育の推進と地域の活性化を図る。</p> <p>※令和4年4月の民法改正に伴う成人年齢の引き下げにより、「成人を祝う集い」を改め「20歳（はたち）の集い」の名称として開催。 ※生涯学習文化課予算から、通信費や報償費が配分される。</p>									
対象・定員等	小櫃地区新成人・小櫃地区住民		青少年教育事業（報酬金29千円、消耗品費16千円、通信運搬費8千円） ※生涯学習文化課予算から報償費、通信運搬費支出							
周知方法等	広報きみつ・公民館だより等で周知。新成人者に個別通知。									
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6	7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~	合計	支出概要
	実数	0	0	0	0	0	0	0	0	
	延べ	0	0	0	0	19	0	0	41	
	計	0	0	0	0	32	0	0	53	
成果反省 課題等	<p>【成果】 実行委員会の結成時期が昨年度よりも遅かったことや、多忙な実行委員の状況から活動を絞って取り組んだが、会議以外の時間もLINEを活用し、各自が空いている時間を活用して写真の収集や新成人への呼びかけなどに主体的に取り組む様子が見られた。昨年取り組んだ「新成人の抱負」とスライドショーの演出をさらに改善し、スムーズかつ各自の夢や決意が語られる時間を生み出すことができ、成人の節目として相応しい内容となった。</p> <p>【課題】 実行委員を引き受けてくれる人が見つからず体制づくりの段階で困難が生じた。学生にとっては実習期間であったり小櫃から離れて暮らしている人も多く、社会人も多忙な労働環境のなかであり、実行委員の成り手探しの難しさを今回感じた。来年度は8月頃から該当者やその家族を通じて声掛けを行い、余裕をもって体制づくりに取り組む必要がある。</p>									

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要(内容、講師・協力者等)	備考(会場・他)	参加数
1	10	22	土	10:00 ~ 11:30	第1回実行委員会 ・自己紹介 ・20歳のつどいについて ・今後の予定 ・つどいのイメージ作りとアイデア出し	小櫃公民館 講義室	3
2	11	2	木	19:00 ~ 21:00	第2回実行委員会 ・つどい全体の流れ・映像について ・恩師招待者の検討 ・記念品について ・案内状について	小櫃公民館 講義室	3
3	11	17	木	19:00 ~ 21:20	第3回実行委員会 ・写真フォルダの振り分け作業(PC) ・恩師招待者の確認 ・案内状について ・つどいの内容検討(ピアノ伴奏、役割分担等)	小櫃公民館 講義室	3

4	12	14	木	19:00 ～ 20:30	第4回実行委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・原稿依頼、ラジオ出演について ・案内文書の発送状況 ・つどいの内容検討 (会場配置、シナリオ、役割分担、 スライドショー作成) 	小櫃公民館 講義室	3
5	1	5	金	19:00 ～ 20:30	第5回実行委員会（リハーサル） <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットの封入作業・配架作業 ・スライドショー完成作業 ・シナリオをもとにリハーサル (当日手伝い者も同席) ※会場設営は当日午後より職員で実施済み	小櫃公民館 講堂	6
6	1	7	日	13:30 ～ 16:00	令和6年小櫃地区20歳のつどい 開会、国歌斉唱、市長ビデオメッセージ、 来賓代表挨拶、来賓紹介、祝電披露、 新成人企画「新成人の抱負」、 恩師からのメッセージ、お礼の言葉、閉会 (終了後、記念撮影) <ul style="list-style-type: none"> ・新成人29名（男性17名、女性12） ・来賓16名、主催者1名 ・家族25名、ボランティア1名 	小櫃公民館 講堂ほか	72
7	2	2	金	19:00 ～ 20:00	第6回実行委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・記念品発送作業 ・会計報告 ・活動の振り返り(感想、次年度への改善点等) 	小櫃公民館 講堂	4

令和 5 年度事業報告

上総公民館

		機関名	上総公民館						
事業名称	さわやか学級（高齢者学級）	作成日	令和 6 年 2 月 29 日						
		担当者	森本 弘之						
	(予算分類名) 課題解決学習推進事業	全回数	10 回	総時間数	24時間15分				
実施背景 目的 特記事項等	地域や家庭での役割を果たし、健康で生きがいのある生活のために共に学びふれあう場とする。高齢化率が50%(令和4年度末)を超えた上総地区において、60歳以上の世代が地域の自治会活動や産業等の中心的な担い手になっている。家庭では家事や介護等を担っている方も多い。そこで健康でかつ地域でいきいきと暮らし続けられる地域づくりにつながるよう、学びの場と交流の場を定期的に設ける。あわせて人と人のつながりを生み出し、高齢世代がより住みやすい地域になることを目指していく。このほか主体的に関わる仕組みを作ることで、学級での学びが自分自身のものとなっていくよう工夫をしていく。								
対象・定員等	上総地区在住の60歳以上の男女 約40名		支出概要	課題解決学習推進事業 予算総額187千円 うち報償費33千円【執行額19,000円】					
周知方法等	自治会文書配布、前年度の班長を通じて募集								
参加状況 ※年齢はおおよそ	年齢	0~6		7~12	13~15	16~19	20~39	40~59	60~
	実男	0	0	0	0	0	0	3	3
	実女	0	0	0	0	0	0	31	31
	延男	0	0	0	0	0	0	34	34
	延女	0	0	0	0	0	0	18	18
	延計	0	0	0	0	0	0	142	142
	延計	0	0	0	0	0	0	160	160
成果 反省課題等	健康をテーマに様々な講座を行い、予定どおり全10回全て実施することが出来た。課題としては、上総地区における急速な高齢化に伴い参加者の減少があげられる。より参加してもらいやすいプログラムの検討等が必要である。								

プログラム

回	月	日	曜	時間	概要（内容、講師・協力者等）	備考（会場・他）	参加数
1	6	8	木	9:30 ~ 11:30	開級式・オリエンテーション 学習計画・運営確認、学級生紹介 健康な体づくり ～ストレッチ・体操で健康増進～ 講師：鈴木まゆみ氏[君津市スポーツ推進員] (アンケート結果 満足15名、やや満足2名)	上総公民館	21
2	7	11	火	8:30 ~ 15:45	移動学習 ～千葉県立現代産業科学館など～ 講師：千葉県立現代産業科学館の職員 (アンケート結果 満足18名、やや満足5名)	上総公民館	24
3	8	9	水	9:30 ~ 11:30	健康づくりと健康の維持 ～成年後見制度と日常生活自立支援事業～ 講師：きみつ後見支援センターの職員 (アンケート結果 満足8名、やや満足3名)	上総公民館	12
4	9	14	木	10:00 ~ 11:30	人と心の豊かなふれあい ～落語で学ぶ～ 講師：目黒屋さんま[若鍋和男氏] (アンケート結果 満足10名、やや満足4名)	上総公民館	17
5	10	12	木	9:30 ~ 11:30	健康づくりと健康の維持 ～介護予防教室 みんなで歩こう!! 9030 90歳で30分の歩行～ 講師：麻生拓馬氏[医療社団法人 君津あすなろクリニック 理学療法士] (アンケート結果 満足16名、やや満足1名)	上総公民館	21
6	11	8	水	9:30 ~ 11:30	健康な体づくり ～グラウンドゴルフに挑戦～ 講師：上総グラウンドゴルフ愛好会[代表 宗政亀吉 他1名] (アンケート結果 満足12名、やや満足3名、どちらとも いえない1名)	久留里スポーツ 広場	20

7	12	6	水	9:30 ～ 11:30	小櫃公民館「ほほえみ学級」、上総公民館「さわやか学級」 交流会 ～学級対抗かるた大会～ 講師：布施慶子主査[久留里城址資料館学芸員] (アンケート結果 満足9名、やや満足5名)	上総公民館	15
8	1	10	水	9:30 ～ 11:30	健康な体づくり ～ボッチャに挑戦～ 講師：前田佳也氏[小糸レインボークラブ] (アンケート結果 満足7名、やや満足2名)	上総公民館	13
9	2	7	水	10:00 ～ 11:30	健康づくりと健康の維持 ～シニア世代の健康な食生活のヒント～ 講師：武田久美子主任管理栄養士[君津市健康子ども部健康づくり課職員] (アンケート結果 満足12名、やや満足2名)	上総公民館	17
10	3	1	水	9:30 ～ 11:30	健康な体づくり(予定) ～ラジオ体操講座～ 講師：[スポーツ推進課職員] 閉級式 1年間のまとめ、次年度に向けた話し合い	上総公民館	0

令和8年1月実施20歳のつどいにかかる懸案事項について —書面による意見とりまとめ結果—

小櫃・上総地区公民館運営審議会

はじめに

「成人を祝う集い」の時から、青年の門出をともに祝い励ます行事を地域の人々との交流を深める機会をもちながら、対象者の主体性を生かして取り組みを進めてきた経緯があり、上総地区では、久留里地区、松丘地区、亀山地区での開催（※経緯については下記参照）となっている。上総小櫃中学校区となったことで、小櫃地区も加わり4地区の統合開催について、主役である20歳成人者にとって大人の自覚を得るに相応しい形態を模索していくと共に、**学校統合後間もない現在の地域感情にも配慮していく必要がある。**

※上総公民館開館（昭和44年）以前は、上総町で一つの会場で実施し、年度ごとに会場を持ちまわる移動方式で実施していた。公民館開館後は、ホールにて成人を祝う集いを開催してきた。

平成16年に亀山コミセンが開館したことに伴い、アンケートを実施し地域開催を検討するもこの時点では上総公民館開催を結論とした。その後、再び中学校区単位での開催について教育委員会からの諮問を受け、公運審で審議を行ない、平成19年度より中学校単位で3地区開催となって現在に至る。

1. 会場について ※最終決定は教育委員会のためあくまで判断材料として整理

候補	収容人数	駐車場	施設利用	懸案事項
上総地域交流センター 多目的ホール	△ ステージ含めて 210人	△ 駅前交流広場、幼稚園等使用	○	
上総小櫃 中学校体育館	○	○	△ 部活や社会体育と調整	・同窓会的雰囲気になりやすい ・看板等の移送

※上総・小櫃エリアでの開催の趣旨から、**小櫃公民館、松丘コミセン、亀山コミセンでの開催は現実的ではない**と思われる。

- 上総地域交流センター 多目的ホールの場合：送迎の降車場所や車での上場者の駐車場を意図的に会場から少し離れた場所に確保することで、華やかな若者たちの姿を久留里の街の中で見ることができるよう演出して街を賑やかに、併せて門出を祝う機運が高まればよいかなと思う。
上総小櫃中学校 体育館の場合：3学期当初の学校行事や休日であっても生徒及び職員への影響を精査する必要があると思う。市教委が配慮を欠いた決定をすれば学校は従わざるを得なくなってしまう。また、来場する車の誘導、学校敷地内と周辺の警備などにも慎重に対応する必要があるのではないかな。
- 中学校区を主に考えるなら、統合しているため、「学区内で実施できる施設は、どこがあるか」という視点で考えては、どうでしょうか。成人の数、来賓数、駐車場、保護者は参加ですか？（木更津市は、保護者の参加はありませんが）といっ

たように会場のキャパの問題が第一にくるかと思います。先日の会議や資料を拝見すると、①君津文化ホール（中ホールでも可能）、②上総小櫃中体育館の2か所がしかないのかなと感じます。資料の懸念事項にあるように「上総小櫃中で実施すると同窓会的雰囲気になりやすい」という意見はうなずけますが、君津文化ホールが難しいのなら、中学校の実施も仕方がないかと思います。行政の施設で実施するのが望ましいですが。現時点では、周東中学区は、周東中体育館で実施する予定と聞いています。

- 平成16年時のアンケートが誰を対象としたものなのか？20歳成人者であったならば今回もアンケートを実施してみるのも良いのではと思う。寒い時期でもあるので空調設備のある上総地域交流センターが望ましいと思うが、駐車場スペースのみ心配。
- 収入人数、駐車場問題から上総小櫃中学校体育館が適していると思われる。懸念事項等については、解決可能と思われる。
- 実行委員会との話し合いで決めてはどうでしょうか。同窓会的雰囲気は仕方ないと思います。懸念されるのは、20歳の当事者ではなく、一緒に参列（出席）する方々のマナーではないでしょうか。
- 上総公民館の駐車場の問題はありますが、収容人数に問題がなければ、多目的ホールと中学校体育館の交互開催は可能でしょうか？
- 20歳のつどいのみなさんの意見が重要であると考えます。駐車場を考えると、中学校になりますね。
- 上総小櫃中学校体育館での開催が良いと思います。
理由：上総地域交流センター多目的ホールでの開催の場合、お示しいただいたように、懸念事項が多いと思います。

2. 実行委員会について

上総小櫃中学校区として、地域選出は行わず、手挙げ・一本釣りで組織する。

※上総地区では小学校統合のため久留里、松丘、亀山の地区選出は困難。上総小と小櫃小での選出について、現に他地区の集い実行委員会（君津中学校区、八重原中学校区や小糸地区）では、小学校でバランスをとっての組織化はしていない。

- 例えば、中学生の頃に「18歳で成人を迎え、その2年後20歳になったらどのような大人になっているのか、地域で共に育った仲間を集おう。」など『20歳のつどい』に向けた筋書きを伝えておかないと、いきなり実行委員を募集と聞かされても何をどうしてよいか理解できないのではないか。
- 実行委員会形式で実施するのであれば、地区選出、地域感情の配慮は不可能です。多くの地域では、公民館の成人式担当者が中学校に連絡し、実行委員をやれそうな生徒の氏名や連絡先を聞き、一本釣りで組織しているようです。学校側から紹介している生徒は、全校生徒会や学年生徒会のメンバーが主で、中学校時代リーダーとして、活躍した生徒、またその資質がある生徒です。それらのメンバーは、当たり前ですが地区割で生

徒会メンバーを決めているわけではありませんので、地区感情の配慮は不可能となります。

学校から紹介された生徒の中には、地元に住んでいないという理由で、実行委員を引き受けられないと返答をする生徒が多いようですが、今は SNS やリモートがあるので、地元にいなくても実行委員としての仕事は可能かと思います。(現にうちの子どもは引き受けていました)リーダー性の情報は、中学校時代の担当教師の情報なので、中学校卒業後に開花した生徒もいます。SNS で周りの友達の前況状況は逐一入るので、一本釣りでも断られても、その生徒に誰か紹介してもらって実行委員を組織しているのが現状かと思います。

- 地域選出の必要はないと思う。「やってもいいよ」というメンバーでやるのが良いと思う。
- 意見なし
- 地域選出は行わなくても良いと思います。中学卒業時に、“20 歳のつどい”が予定されている事、実行委員を募る等、知らせておいてはどうでしょうか。
- 前回の会議の際、栗原校長先生がおっしゃっていましたが、小櫃公民館文化祭(→正しくは「小櫃地区ふるさと祭り」)でソーランの参加者は地区関係なく参加したとのことなので、通っている子どもたちに地区地域などは関係なく、上総小櫃中学校の生徒としての意識があるのだと思います。ですので、地域別の選出は必要ないと思います。
- 上総小櫃中学校区の中からいいのでは？
- 実行委員として参加しやすい方の中から選出し、組織する形で良いと思います。
理由:学生の方、働いている方、子育てしている方等、様々だと思いますので、参加しやすい方々で組織するほうが何かと決めやすいと思います。

3. 来賓について

参集範囲によって地域感情に配慮が可能だが、**人数が多くなるため現状の選出範囲よりも絞っていく必要がある。**

◆現状の参集範囲◆

- ・ 小 櫃 地 区：地元市議、自治会連協、小櫃振興会、社会教育委員、公運審、小櫃の元気なこどもを育てる会、消防団（本部、支団）、青少年相談員、恩師
- ・ 久留里地区：県議、地元市議、自治会連協、公運審、青少年相談員、恩師
- ・ 松 丘 地 区：地元市議、自治会連協、コミュニティ活動推進委員会、社会教育委員、公運審、青少年相談員、恩師
- ・ 亀 山 地 区：地元市議、自治会連協、公運審、青少年相談員、恩師

◆統合案◆

県議、市議（6名）、自治会連協（小櫃地区、上総地区）、公運審（正・副委員長）
社会教育委員（2名）、青少年相談員（小櫃地区、上総地区）
健全育成（小櫃地区、上総地区）計 17 名

プラス恩師 ※**恩師についてもある程度人数制限をかけて、その枠内で呼びたい先生を実行委員に検討してもらう必要がある。**

- 「つどい」に参加する若者たちから見て、「つどい」に招く来賓との関係が理解できないと、せっかくのメッセージをもらっても真の気持ちが若者たちに伝わらないと思う。生まれ育った地元自治体(市)、選挙権を行使して選んだ議員(県・市)、お世話になった学校の恩師、生まれ育った地域の自治会までが理解できる範囲ではないか。
- 「小中学校の卒業式とは、六か年、三か年の長きにわたり納税してくれた人に、その成長を見せる場である。納税者が多額の税を納めてくれたおかげで、教師を雇い、校舎を維持し、安価な負担で給食を提供することができた。だから、学校設置者の自治体の代表者や地域住民代表者を招く。そして、成長した姿を見せて、学事(教育活動)の報告をする。それが卒業式の趣旨なのである。」を踏まえて成人式を考えると、地域感情への配慮をしながらの来賓の招待は必要不可欠化と思います。基本、恩師の招待を含め、「総合案」でよいと思います。

コロナを機に学校長を招待しない市が多くなってきたようです。■上記の趣旨で既に卒業式を終えていること。■校長よりも上記の趣旨に沿った地域の方々が多くいること。■式を迎える成人は、校長が在籍していた生徒ではないことが多いこと。などが理由のようです。小糸中学区では、今の校長ではなく、当時の校長を恩師の一人として、招待している年度もあったようです。

- 統合案で良いと思う(市議も代表でも良いのでは)。主役は新成人(20歳)なので少なくとも良いと思う。
- 統合案に賛成
- 統合案に同意します。
- 先日出席した20歳のつどいでも感じたのですが、参加する人、保護者も含め、やはり恩師に会いたいと思っている人がほとんどだと感じました。地域に配慮も必要だと思いますが、1人でも多くの恩師の方を招待できるようにしていただければと思います。特に上総小学校は3地区が統合していますので、数年は恩師の数も多くなると思います。
- 統合案とします。
- 実行委員の中で話しあって決めていく方が良いと思います。
理由:主役は20歳になる皆さんです。どんな形の式典にしたいのか、それによって決める方が良いと思います。個人的には、来賓ありきの式典決めになってしまうのは、いかなものかと思います。

4. 事務分担

- ①事務担当→各公民館において20歳のつどいの担当者を配置し、2担当制とする。
 - ②実行委員会組織化→各公民館エリアに対し実行委員募集と呼びかけを積極的に行う。
 - ③実行委員会活動支援→上総地域交流センターを会議拠点として活動していく。
- ※このほか、会場準備や当日運営、予算の確保等については両公民館で調整しながら進めていく。

- 20歳の実行委員の立場になれば、身近に相談役の事務担当が複数いた方がよいと思うので各館1名ずつ配置して連携させ、学校現場の経験を持つ館長がいるのであれば事務担当の相談役になってもらえばよいと思う。

- 実行委員会組織で運営していくとすれば、SNS やリモートを使いながら、行政側の担当者が1つの公民館に仕事が偏らないように組織できればと思います。
- 上記（案）でいいと思う
- 事務担当者会議の開催日の検討（駐車場等が狭く停められない）
- 上記の案で差し支えありませんが、職員の負担にならない様、配慮していただきたいです。
- 各公民館でお願いしたい。
- 実行委員会の皆さんも初めてのことも多いと思いますので、各公民館に担当者を配置し、進めていく方が良いと思います。

5. その他お気づきの点や全般に関して

- 地域に生まれた子どもたちが成長して大人になったことを「自覚してもらおう」「祝う」そして「地域社会が大人になった若者を受け入れる」というような本来の目的を改めて整理してみないと、実行委員会をどのように組織してどこに置くのかが見えてこない。現行方式では、本来の行事のあり方をあいまいにしたまま「対象者の主体性を生かす」点が先走りしてしまっている感がある。
- 「～地域感情にも配慮していく必要がある。」とありますが、先を見据えて、配慮が必要な場面と「ただ学区の広い上総小櫃中学校である」という視点で考える場面とで分けないと実施に困難を生じる可能性があると思います。
 配慮するのであれば、各4地区の公民館でささやかながら実施するのがいいかと思います。懸案事項にあるように、どこで実施しても中学校区単位で実施すれば、他校の卒業生はいないので、同窓会の雰囲気にはなりません。
 木更津市は「市内在住の成人」として、大きなくくりで、アカデミアパークで実施しています。君津市でも今後の少子化を見据え、市内一斉に実施するのがベストと感じています。令和5年度市内中学生1734名、単純に3分の1にしても学年578名。君津文化ホールで余裕で実施できるかと思いますが・・・しかし、木更津市では、多くの職員の方がいろいろな担当について大変そうでした。会場敷地内で酒盛りをした瓶、缶の回収、暴走行為の通報、駐車場からあふれるほどの車の誘導…今の生徒は、それほどではないと思いますが。
- 12月6日会議は内容が盛りだくさんすぎたと思います。「20歳のつどい」については意見交換しながら相談できたら良かったと思います。
- 特に意見なし
- 今年度の“20歳のつどい”に出席し、とても感動しました。実行委員の進行はとても良くスムーズで、門出を祝う会に相応しく、20歳の皆さんを温かく見守ることができました。私立中学に進学した方から、呼んで頂いて良かったとの声も伺いました。
- 実際に準備、運営してから問題点が出てくるとはありますが、柔軟に対応していただき、より良い20歳のつどいが実施されていければ良いと思います。

モデル事業 ①「ちょボラの会」について

小櫃公民館

1 事業概要

(1)経 緯 「ちょボラの会」とは、`ちよこっとボランティアの会、の愛称で、「What you can do, when you can(=できることを、できるときに)」を合言葉に取り組むボランティア活動である。当館では、令和3年7月5日から令和5年7月4日までの2年間、小櫃在住の高校生1名が、図書室の蔵書整理や特集本の選書、特集コーナーづくりのほか、文化祭では芸能発表の司会を担当してくれた実績がある。令和6年度は`大人版ちょボラの会、に取り組む。

(2)目 的 小櫃公民館の再整備計画にかかるアンケート【新たな公民館等に期待することは何ですか？】で、最も多かった要望は、「用事がなくても憩い・くつろげる環境の整備(32.1%)」であった。ワークショップ(令和5年度)においても、ロビーや図書室を中心に、こどもの居場所、遊び場など気軽に立ち寄れる交流空間、くつろげる雰囲気づくりに対する要望が多く寄せられている。

これを受け、まずはロビーワークを中心に、負担感よりも楽しみながら取り組めるよう雰囲気づくりに配慮し、`大人版ちょボラの会、を始動させる。

まずは、本事業に携わる大人たちが楽しむことを第一に、公民館をもっと親しみやすく、使いやすいものにするために活動していただく。「用がなくても来られる公民館」づくりに寄与していただきながら、地域住民のみなさんが、公民館のあり方について、「自分事」としてとらえる気運の醸成にもつなげていきたい。

(3)協 力 小櫃公民館定期利用サークル、有志

2 内 容

(1)予算分類 課題解決学習推進事業

(2)期 日 今後決定。

※第1回準備会は2月29日に実施済み。第2回準備会を3月12日に実施し、新年度スケジュール等を調整する予定。

(3)会 場 小櫃公民館(ロビー、図書室等)

(4)対 象 当事業に関心のある方

(5)内 容 親しみやすい公民館づくりー公民館の空間を「快善」ー
(「用がなくても来られる公民館」づくり)

モデル事業 ②「介護家族のひろば」について

小櫃公民館

1 事業概要

(1)経緯 「おびつスマイルサロン“いーね”」を企画・運営するなかで、認知症患者本人には「生活障害をもちながらどう生きていくか」という課題がある一方、介護をする側の家族にとっては、認知症の人とともに「自分がどう生きていくか」について考えることも、取り組むべき重要事項なのではないかと認識するに至った。介護保険制度は本人支援が中心であるが、「地域における介護家族へのケア」についても取り上げる必要性から本事業を企画し、取り組む。

(2)目的 「おびつスマイルサロン“いーね”」の派生事業として、東部地域包括支援センターおよび生活支援コーディネーターと連携し、介護者同士が情報を交換して、日ごろの思いを吐露できるような場を創出し、それによって介護する家族等にとっての心のケアを図る事業とする(ピア・カウンセリング)。

(3)協力 東部地域包括支援センター、生活支援コーディネーター、介護者ネットワークきみつ、有志

2 事業概要

(1)予算分類 課題解決学習推進事業

(2)期日 ①5月30日(木)13:30～15:30

②11月下旬

(3)会場 小櫃公民館

(4)対象 当事業に関心のある方

(5)内容 ①話題提供

②茶話会「介護トーク」

(6)周知 自治会回覧、君津市 HP 等広く周知するほか、ケアマネージャーやデイサービス、病院での掲示を通じて該当者へ直接周知を行う

モデル事業「みんなイキイキ！食の健康教室～高血圧撲滅編～」について

上総公民館

1 事業概要

(1) 経緯

令和5年度～6年度の小櫃・上総地区公民館運営審議会の審議テーマに沿い、これまでに、地域の現状や地域活性に資する事業や活動の検証、また、上総公民館のあり方に関するアンケート調査を実施し、地域の方のニーズ、公民館の役割などの把握に努めてきた。

アンケート調査の結果では、期待する講座として、普遍的なテーマである「健康学習」がトップとなったことを踏まえ、モデル事業の実施について検討した。

(2) 目的

健康において、食は生きていくうえでも必要不可欠であること、また、「医食同源」という言葉もあるように、食は住み慣れた地域で元気でいきいきと暮らしていくために、老若男女問わず全ての人の健康と密接に関わっている。

市高齢者支援課によると、上総地区は成人（高齢者）の高血圧の割合が高い。一方で、減塩に慣れるなどの食育は、成人（高齢者）だけではなく、子どもの頃からの取り組みが大切だと言われている。

また、上総小学校によると、児童のおよそ50～60%が3世代同居と言われている。家庭での調理を担っている方はもちろんのこと、同居世帯の全ての方が減塩に慣れることが必要であり、世代を越えた取り組みが必要である。

このことから、全世代の方を対象にモデル事業「みんなイキイキ！食の健康教室」を実施し、小学生・中高生・成人（高齢者）の3つの世代に、食を通じて健康を考え、実践する機会を提供する。

そのうち、成人（高齢者）向け事業を評価対象とする。生活習慣病の中でも代表的な病気の一つである高血圧の予防・改善のための食生活について学び、実習することで、健康意識の向上、健康寿命を延ばし、地域活性につなげたい。

(3) 協力 ※交渉中

君津市福祉部高齢者支援課、君津市健康こども部健康づくり課、君津市学校給食共同調理場、君津市食生活改善協議会、千葉県立君津青葉高等学校、明治安田生命保険相互会社

2 内容

(1) 予算分類 課題解決学習推進事業

- (2) 期 日 ①【評価対象事業】成人（高齢者）向け
令和6年6月から7月中（2回実施予定）
②小学生向け
令和6年7月から8月中（1回実施予定）
③中高生向け
令和7年2月中（1回実施予定）

(3) 会 場 上総公民館 会議室2及び調理室

- (4) 対 象 ①【評価対象事業】成人（高齢者）向け「高血圧改善で健康寿命延伸 ～孫や子と一緒に料理教室！～」
10組（20名）程度
②小学生向け「一人でもできる！カンタンおいしい料理！」
10名程度
③中高生向け「育ち盛りのあなたへ！ごちそう健康クッキング！」
10名程度

(5) 内 容

①【評価対象事業】成人（高齢者）向け

「高血圧改善で健康寿命延伸 ～孫や子と一緒に料理教室！～」

第1回 大人のみで、座学にて高血圧に関する学習

※「ベジチェック」を実施する。

第2回 孫や子と一緒に、おいしくて楽しい減塩調理実習

②小学生向け「一人でもできる！カンタンおいしい料理！」

君津市学校給食共同調理場のレシピ提供及び上総公民館利用団体「くるりクッキング」の協力により、小学生が一人でも作れ、高血圧を未然に防ぐレシピの学習や調理実習をする。

③中高生向け「育ち盛りのあなたへ！ごちそう健康クッキング！」

君津青葉高校と連携し、農業系列で栽培した作物を使用したり、食品系列で学習した調理技術を使用したりして、高血圧を未然に防ぐレシピの学習や調理実習を行う。